



平成30年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 株式会社遠藤製作所
 コード番号 7841 URL <http://www.endo-mfg.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡部 大史
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部門担当 (氏名) 青木 宏行
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 0256-63-6111

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	2,568	—	75	—	84	—	24	—
29年12月期第1四半期	2,650	—	163	—	194	—	112	—

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 △149百万円 (—%) 29年12月期第1四半期 285百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	2.77	—
29年12月期第1四半期	12.91	—

(注) 当社は、平成29年度より決算日を3月31日から12月31日に変更しました。この結果、前第1四半期連結累計期間は、すべての連結対象会社について平成29年4月1日から平成29年6月30日までを連結対象期間としており、当第1四半期連結累計期間と連結対象期間が異なるため、対前年同期比増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	17,894		14,608			81.6
29年12月期	18,471		14,862			80.5

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 14,608百万円 29年12月期 14,862百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	0.00	—	12.00	12.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	0.00	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,912	—	63	—	82	—	△30	—	△3.44
通期	11,266	—	645	—	679	—	377	—	43.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年12月期は、決算期の変更により、通期については平成29年4月1日から平成29年12月31日までの9ヶ月間の決算期間となっております。このため、平成30年12月期の連結業績予想においては、対前期及び対前年同四半期増減率については記載していません。

[参考]

下記の%表示(調整後増減率)は、前期連結業績を12ヶ月間(平成29年1月1日から平成29年12月31日)に調整して業績予想と比較した増減率です。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	(単位:百万円)
11,266	645	679	377	
1.3%	18.6%	8.5%	84.8%	

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年12月期1Q	9,441,800 株	29年12月期	9,441,800 株
30年12月期1Q	711,871 株	29年12月期	711,871 株
30年12月期1Q	8,729,929 株	29年12月期1Q	8,729,929 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は、平成29年度より決算期を3月31日から12月31日に変更しました。この結果、前第1四半期連結累計期間の連結損益計算書は、すべての連結対象会社について平成29年4月1日から平成29年6月30日までの損益を連結していましたが、当第1四半期連結累計期間は平成30年1月1日から平成30年3月31日までの損益を連結していません。

このため、当第1四半期連結累計期間は前第1四半期連結累計期間と対象期間が異なるため、前年同四半期累計期間との比較分析は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続く中、景気は緩やかな回復基調で推移しておりますが、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動等の影響から、景気を下押しする不安要因もあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、ゴルフ事業で海外生産工場の移転集約による効果を確実に発揮させるべく生産体制の最適化・効率化に努めるとともに、全社で受注獲得の強化や生産効率の向上、製造コストの一層の低減に取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は25億68百万円となりました。利益面につきましては、営業利益75百万円、経常利益84百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益24百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(ゴルフ事業)

ゴルフ事業につきましては、移転集約後の海外新工場の順調な立ち上げや集約効果の発揮に努めるとともに、取引先主力モデルの受注獲得に取り組む等により、売上高6億66百万円、営業損失1億9百万円となりました。

(メタルスリーブ事業)

メタルスリーブ事業につきましては、開発力を高めて高付加価値製品の供給に努め、効率改善による生産性の向上に取り組む等により、売上高2億60百万円、営業利益41百万円となりました。

なお、平成30年1月1日より、従来の「ステンレス事業」から「メタルスリーブ事業」にセグメント名称を変更いたしました。

(鍛造事業)

鍛造事業につきましては、主要取引先への受注獲得の強化による数量の増加や生産性の向上、コスト低減に取り組む等により、売上高16億40百万円、営業利益2億69百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、178億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億76百万円減少いたしました。

流動資産は、104億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億86百万円減少いたしました。この主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものであります。固定資産は、74億59百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億10百万円増加いたしました。この主な要因は、建設仮勘定が増加したこと等によるものであります。

負債合計は、32億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億22百万円減少いたしました。

流動負債は、18億71百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億41百万円減少いたしました。この主な要因は、未払金及び未払費用が減少したこと等によるものであります。固定負債は、14億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ80百万円減少いたしました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の減少等によるものであります。

純資産合計は、146億8百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億54百万円減少いたしました。この主な要因は、為替換算調整勘定が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成30年2月14日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更ありません。

なお、業績予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって記載の業績数値と異なる結果となる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,713,415	6,227,200
受取手形及び売掛金	2,568,068	2,212,313
商品及び製品	584,066	724,112
仕掛品	515,592	533,988
原材料及び貯蔵品	579,279	575,368
繰延税金資産	10,194	10,645
その他	164,919	161,138
貸倒引当金	△13,255	△9,415
流動資産合計	11,122,281	10,435,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,762,513	2,683,601
機械装置及び運搬具(純額)	1,453,710	1,443,302
工具、器具及び備品(純額)	161,390	171,997
土地	1,563,244	1,550,620
建設仮勘定	491,162	707,798
有形固定資産合計	6,432,020	6,557,319
無形固定資産	21,197	20,246
投資その他の資産		
投資有価証券	124,988	114,281
投資不動産(純額)	247,284	246,570
退職給付に係る資産	473,675	465,413
長期未収入金	237,558	234,115
繰延税金資産	30,383	35,943
その他	19,780	19,698
貸倒引当金	△237,808	△234,365
投資その他の資産合計	895,862	881,657
固定資産合計	7,349,081	7,459,224
資産合計	18,471,362	17,894,576

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	875,297	867,632
短期借入金	131,050	100,000
未払法人税等	102,310	152,760
未払金及び未払費用	562,849	338,486
賞与引当金	51,952	162,922
その他	389,487	249,608
流動負債合計	2,112,948	1,871,410
固定負債		
長期借入金	900,000	875,000
繰延税金負債	185,222	171,054
退職給付に係る負債	225,420	230,051
役員退職慰労引当金	67,699	-
資産除去債務	46,928	47,166
その他	70,488	91,530
固定負債合計	1,495,759	1,414,802
負債合計	3,608,708	3,286,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,788	1,241,788
資本剰余金	1,189,873	1,189,873
利益剰余金	11,337,044	11,256,501
自己株式	△281,968	△281,968
株主資本合計	13,486,738	13,406,194
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,548	15,105
為替換算調整勘定	1,353,368	1,187,062
その他の包括利益累計額合計	1,375,916	1,202,168
純資産合計	14,862,654	14,608,363
負債純資産合計	18,471,362	17,894,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高	2,650,505	2,568,007
売上原価	2,091,262	2,119,596
売上総利益	559,243	448,410
販売費及び一般管理費	395,687	373,124
営業利益	163,555	75,286
営業外収益		
受取利息	11,357	11,341
受取配当金	1,168	3
投資不動産賃貸料	6,564	6,564
為替差益	12,333	—
その他	9,328	17,632
営業外収益合計	40,752	35,542
営業外費用		
支払利息	1,939	980
減価償却費	1,027	280
固定資産除却損	—	7,987
為替差損	—	6,329
その他	7,126	10,366
営業外費用合計	10,093	25,944
経常利益	194,214	84,884
税金等調整前四半期純利益	194,214	84,884
法人税、住民税及び事業税	70,670	101,263
法人税等調整額	10,839	△40,595
法人税等合計	81,510	60,668
四半期純利益	112,704	24,216
親会社株主に帰属する四半期純利益	112,704	24,216

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	112,704	24,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,187	△7,442
為替換算調整勘定	161,986	△166,305
その他の包括利益合計	173,173	△173,748
四半期包括利益	285,877	△149,532
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	285,877	△149,532
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

1. 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算出方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(追加情報)

(役員退職慰労金制度の廃止)

当社の役員退職慰労引当金については、従来、役員の退職慰労金の支払に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しておりましたが、平成30年3月28日開催の定時株主総会終結の時をもって役員退職慰労金制度を廃止しております。同制度廃止に伴い、在任期間に対する役員退職慰労金の打ち切り支給を同総会で決議し、役員退職慰労引当金残高72,324千円を、流動負債の「未払金及び未払費用」50,035千円、固定負債の「その他」22,288千円に計上しております。

(セグメント情報等)

I. 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	メタルスリ ーブ事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	969,545	273,058	1,407,902	2,650,505	—	2,650,505
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,550	—	—	2,550	△2,550	—
計	972,095	273,058	1,407,902	2,653,055	△2,550	2,650,505
セグメント利益	44,513	61,434	190,570	296,517	△132,962	163,555

(注) 1. セグメント利益の調整額△132,962千円には、セグメント間取引の消去△2,550千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△130,412千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第1四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ゴルフ事業	メタルスリ ーブ事業	鍛造事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	666,474	260,727	1,640,804	2,568,007	—	2,568,007
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,550	—	—	2,550	△2,550	—
計	669,024	260,727	1,640,804	2,570,557	△2,550	2,568,007
セグメント利益又は損失(△)	△109,267	41,256	269,621	201,609	△126,323	75,286

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△126,323千円には、セグメント間取引の消去△2,550千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△123,773千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 当第1四半期連結会計期間より、従来の「ステンレス事業」から「メタルスリーブ事業」にセグメント名称を変更しています。なお、セグメント名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。